



CHAPTER 3

Cisco IPICS のアップグレード

現行の Cisco IPICS サーバが Release 2.0(2) または 2.0(2) SR1 を実行している場合は、シスコが提供する CD-ROM を使用して Release 2.1(1) にアップグレードできます。Cisco IPICS Release 2.1(1) に対応したソフトウェアの入手方法については、シスコの代理店にお問い合わせください。



ヒント

アップグレードに対応している Cisco IPICS のバージョンを確認するには、最新版の『*Cisco IPICS Compatibility Matrix*』を http://www.cisco.com/en/US/products/ps7026/tsd_products_support_series_home.html で参照してください。

この章では、ソフトウェアを Cisco IPICS Release 2.1(1) にアップグレードする手順、およびこのアップグレードプロセスを完全に実施するために必要となる、その他の作業について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- 開始する前に (P.3-2)
- Cisco IPICS サーバソフトウェアの直接アップグレードの実行 (P.3-3)
- Cisco IPICS サーバソフトウェアのリモートアップグレードの実行 (P.3-7)

開始する前に

次の点に注意して、サーバソフトウェアをアップグレードする前に次の操作を1つ以上実行してください。

- リモート ホストにデータベースのバックアップを取っておくことをお勧めします。アップグレード中に問題が発生した場合は、Cisco IPICS Release 2.0(2) サーバソフトウェアを再インストールし、リモートのバックアップからデータベースを復元してシステムを以前の状態に戻すことができます。Cisco IPICS データベースのバックアップと復元については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide Release 2.1\(1\)](#)』の「Performing Cisco IPICS Backup and Restore Operations」の章を参照してください。
- サポートされる最新の PMC の新バージョンでは、PMC ダウンロードプロセスが段階的に行われるように設定できます。PMC のダウンロードを段階的に行うと、長時間かけて一度にすべてのユーザに PMC をダウンロードする場合の負荷を軽減できます。この機能については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Performing Cisco IPICS System Administrator Tasks」の章の「Installing a New PMC Version Before You Upgrade Your Cisco IPICS Server」の項を参照してください。
- Cisco IPICS は、アップグレード中、チャンネル、VTG、およびユーザの既存のアトリビュートを保持します。ただし、Release 2.1(1) で新規チャンネルまたは VTG を作成する場合、Allow Latch アトリビュートのデフォルト設定は無効（チェックなし）に設定されます。Allow Latch アトリビュートの詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Performing Cisco IPICS System Administrator Tasks」の章を参照してください。

Cisco IPICS サーバソフトウェアの直接アップグレードの実行

Cisco IPICS サーバに物理的にアクセスできる場合は、サーバソフトウェアをサーバ上で直接アップグレードできます。アップグレードを実行するには、製品パッケージに同梱されている Cisco IPICS Release 2.1(1) インストール CD が必要です。

Cisco IPICS のアップグレードを実行するには、ルートユーザとしてログインする必要があります。他のユーザ ID を使用してアップグレードを実行しようとすると、エラーが返されてアップグレードが終了します。



(注) アップグレードプロセスを途中で終了するには、**Ctrl+C** キーを押します。

Cisco IPICS サーバソフトウェアを直接アップグレードするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 端末のコンソールで、*hostname login:* フィールドに **root** と入力し、**Enter** キーを押します。

ルートユーザのパスワードを入力するように求められます。

ステップ 2 P.2-8 の「Cisco IPICS オペレーティングシステムのインストール」のステップ 16 で作成したルートユーザのパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。

ルートユーザとして Cisco IPICS オペレーティングシステムにログインした状態になります。

ステップ 3 次のコマンドを入力して、CD の内容をサーバにマウントします。

```
[root]# mount /mnt/cdrom
```



(注) インストールプロセス中に CD にアクセスすると、**cdrom_decode_error** などのエラーメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージは、Cisco IPICS サーバのインストールおよび動作には影響しませんので、無視してかまいません。

ステップ 4 CD のロケーションに移動するには、次のコマンドを入力します。

```
[root]# cd /mnt/cdrom
```

ステップ 5 インストーラ ファイルを表示するには、次のコマンドを入力します。

```
[root] #ls -l
```

CD のディレクトリが表示されます。

ステップ 6 インストーラ ファイルをディレクトリ リストで確認します。

Cisco IPICS のインストーラ ファイルには **.run** というファイル拡張子が付いています。

ステップ 7 アップグレードを開始するには、次のコマンドを入力します。

```
[root]# bash <upgradefilename>.run
```

表示の意味は次のとおりです。

<upgradefilename>.run には、**ステップ 6** で確認したインストーラ ファイルの名前を指定します。

Cisco IPICS によってインストールプログラムが開始され、現行のサーバソフトウェアを上書きまたはアップグレードするよう求めるプロンプトが表示されます。

ステップ 8 サーバソフトウェアをアップグレードするには、次の選択肢から **2** を選択します。

- 1) Install : Cisco IPICS の以前のバージョンを上書きします。サーバにインストールされている現行バージョンの設定とユーザデータは、すべて失われます。
- 2) Upgrade : 現行バージョンを Release 2.1(1) にアップグレードできます。
- 3) Quit : インストールプログラムをキャンセルします。



(注) インストーラが表示するオプションは、システムで実行されている現在のソフトウェアバージョンによって異なります。

エンドユーザライセンス契約が表示されます。

ステップ 9 **Space** キーを押してスクロールし、契約書の全文を表示します。ライセンス契約に同意する場合は、**y** または **yes** と入力してアップグレードを続行します。アップグレードを続行するには、契約にご同意いただく必要があります。

ipics ユーザのパスワードを入力するように求められます。ipics ユーザはアプリケーションレベルのユーザ ID であり、Cisco IPICS Administration Console を使用して、管理に関連するすべての作業を実施できます。

ステップ 10 ipics ユーザのパスワードをパスワードフィールドに入力します。

セキュリティ性の高いパスワードにするには、少なくとも 8 文字にし、次の文字をそれぞれ 1 文字以上含むパスワードを使用します。

- 1 文字の英小文字
- 1 文字の英大文字
- 1 文字の数字
- 次のいずれかの特特殊文字：
@[] ^ _ ` ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; { < | = } > ~ ?

ステップ 11 パスワードを再度入力します。

Cisco IPICS の ipicsadmin (管理) ユーザのパスワードを変更するように求められます。ipicsadmin ユーザは、データベースのバックアップと復元の操作に関連する Cisco IPICS システムのフォルダ、ファイル、およびスクリプトに対する権限を持っています。

ステップ 12 パスワードフィールドにセキュリティ性の高いパスワードを入力して、ipicsadmin ユーザのパスワードを変更します。

ステップ 10 で説明したパスワードガイドラインに従ってください。

ステップ 13 アップグレードを続行するには、**y** または **yes** を入力します。

アップグレードプロセスが開始されます。

経過表示バーが表示され、アップグレードの進捗率が示されます。

アップグレードが完了すると、アップグレードが正常に完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

ステップ 14 **y** または **yes** と入力して、コンピュータをリブートします。

システムがリブートし、Cisco IPICS サーバを使用できる状態になります。



(注) **Restart Later** オプションを選択する場合は、Cisco IPICS にログインする前に再起動してください。Tomcat サービスやデータベース サーバなどの Cisco IPICS プロセスは、サーバをリブートするまでは起動しません。

Cisco IPICS サーバソフトウェアのリモートアップグレードの実行

この項では、ネットワークにリモートで接続されている PC またはその他のデバイスから Cisco IPICS サーバソフトウェアをアップグレードする手順について説明します。

Cisco IPICS サーバソフトウェアをリモート ロケーションからアップグレードするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行して、インストーラ ファイルを Cisco IPICS インストール CD から Cisco IPICS サーバに転送します。

- CD を Cisco IPICS サーバに挿入し（または、他の人に挿入を依頼し）、インストーラ ファイルをサーバにコピーします。この手順を実行するには、[ステップ 2](#) で説明している手順に従います。
- CD を PC に挿入し、SSH Secure Shell Client ソフトウェア（または同等の機能を備えたソフトウェア）などの FTP クライアント ソフトウェアプログラムを使用して、インストーラ ファイルを Cisco IPICS サーバに転送します。この手順を実行するには、[ステップ 3](#) で説明している手順に従います。

ステップ 2 インストーラ ファイルを CD からコピーするには、次の手順を実行します。

- a. Cisco IPICS インストール CD をサーバのディスク ドライブに挿入します。
- b. **Start > Programs > SSH Secure Shell > Secure Shell Client** を選択して、Cisco IPICS サーバにリモートで接続します。



(注) SSH のアイドル タイムアウト値は、120 分（2 時間）です。このため、SSH のリモート接続セッションを 2 時間以上放置してセッションをタイムアウトさせないでください。

**ヒント**

Secure Shell Client が PC にインストールされていない場合は、別のセキュアクライアントプログラムを使用してください。

- c. **Quick Connect** をクリックして、Cisco IPICS サーバに接続します。
Connect to Remote Host ウィンドウが表示されます。
- d. Host フィールドに Cisco IPICS サーバの DNS ホスト名または IP アドレスを入力してから、**Tab** キーを押します。
- e. User Name フィールドに **root** と入力します。
- f. **Connect** をクリックします。
Enter Password ウィンドウが表示されます。
- g. ルートユーザのパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
SSH Secure Shell Client ソフトウェアのウィンドウが表示されます。
- h. 次のコマンドを入力して、CD の内容をサーバにマウントします。
[root]# **mount /mnt/cdrom**
- i. 次のコマンドを入力して、CD の **cdrom** サブフォルダに移動します。
[root]# **cd /mnt/cdrom**
- j. インストーラ ファイルを表示するには、次のコマンドを入力します。
[root] #**ls -l**
CD のディレクトリが表示されます。
- k. インストーラ ファイルをディレクトリ リストで確認します。
Cisco IPICS のインストーラ ファイルには **.run** というファイル拡張子が付いています。
- l. 次のコマンドを入力して、インストーラ ファイルを /root ディレクトリにコピーします。
[root]# **cp /mnt/cdrom/<installerfilename>.run /root**
表示の意味は次のとおりです。
<installerfilename>.run は、ステップ j で表示された .run ファイルの名前を表しています。
インストーラ ファイルが CD から /root ディレクトリにコピーされます。
- m. 次のコマンドを入力して、/mnt/cdrom ディレクトリからサーバ上の内部ディレクトリに移動します。


```
[root]# cd <serverdirectory>
```

表示の意味は次のとおりです。

<serverdirectory> は、サーバ上の内部ディレクトリまたはサブディレクトリです。

- n. インストール CD をアンマウントし、ディスク ドライブから取り出すには、次のコマンドを入力します。

```
[root]# eject
```



(注) /mnt/cdrom ディレクトリから移動し、**eject** コマンドを入力して CD の内容をアンマウントし、サーバから CD を取り出す必要があります。イジェクト ボタンを押して CD を取り出そうとしても、CD は取り出せません。

- o. アップグレードを続行するには、[ステップ 4](#)に進みます。

ステップ 3 ファイルをリモート ロケーションからサーバに転送するには、次の手順に従います。

- a. Cisco IPICS インストール CD を PC の CD ドライブに挿入します。
- b. **Start > Programs > SSH Secure Shell > Secure File Transfer Client** を選択して、Secure File Transfer Client を開きます。



(注) PC に Secure File Transfer Client がインストールされていない場合は、PC とサーバの間でセキュアなファイル転送セッションを実行できる、他のプログラムを使用してください。

SSH Secure Shell の File Transfer Client ウィンドウが表示されます。PC のデスクトップが左側のペインに表示されます。

- c. **Quick Connect** をクリックして、Cisco IPICS サーバに接続します。
Connect to Remote Host ウィンドウが表示されます。
- d. Host フィールドに、Cisco IPICS サーバの DNS ホスト名または IP アドレスを入力します。次に、**Tab** キーを押します。
- e. User Name フィールドに **root** と入力します。

- f. **Connect** をクリックします。
Enter Password ウィンドウが表示されます。
- g. ルート ユーザのパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
SSH Secure Shell の File Transfer Client が Cisco IPICS サーバに接続し、/root ディレクトリの内容をウィンドウの右側のペインに表示します。
- h. ウィンドウの左側のペインで、Cisco IPICS インストール CD のロケーションに対応する PC 上のフォルダに移動します (**My Computer\Compact Disk Z:** など)。
- i. **CD** フォルダをダブルクリックして、CD の内容を参照します。
CD の内容が表示されます。
- j. **cdrom** サブフォルダをダブルクリックして、フォルダの内容を参照します。
- k. CD の **cdrom** サブフォルダにあるインストーラ ファイルを確認します。
インストーラ ファイルは、拡張子が **.run** になっています。
- l. ウィンドウの左側のペインから右側のペインに向かってインストーラ ファイルをドラッグし、コピー プロシージャを開始します。
ファイルがサーバの /root ディレクトリにコピーされている間は、進捗ウィンドウが表示されます。コピー プロシージャが完了すると、インストーラ ファイルが右側のペインに表示されます。
- m. SSH Secure Shell の File Transfer Client を閉じます。

ステップ 4 SSH Secure Shell Client ソフトウェアまたは同等の機能を備えたソフトウェアを使用して、Cisco IPICS サーバにアクセスするターミナル ウィンドウを開きます。

ステップ 5 User Name フィールドに **root** と入力します。

ステップ 6 **Connect** をクリックします。

Enter Password ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 ルート ユーザのパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

SSH Secure Shell Client ソフトウェアのウィンドウが表示されます。

ステップ 8 インストーラ ファイルを表示するには、次のコマンドを入力します。

```
[root] #ls -l
```

/root ディレクトリの内容が表示されます。

ステップ 9 インストーラ ファイルをディレクトリ リストで確認します。

Cisco IPICS のインストーラ ファイルには `.run` というファイル拡張子が付いています。

ステップ 10 次のコマンドを入力して、インストーラ ファイルのアクセス モードを変更します。

```
[root]# chmod 550 <installerfilename>.run
```

表示の意味は次のとおりです。

`<installerfilename>.run` は、インストーラ ファイルの名前を表しています。



(注) このコマンドを入力すると、ルート ユーザ ID でインストーラ ファイルを読み取りおよび実行できます。

ステップ 11 「[Cisco IPICS サーバソフトウェアの直接アップグレードの実行](#)」の項で説明されている手順を参照し、[ステップ 7](#) から始めて、SSH Secure Shell Client ソフトウェア (または同等の機能を備えたソフトウェア) ウィンドウからインストーラを実行します。

